

## 子どもと図書館 今、世界は—各国の取組から

情報化社会の進展のなかで社会の状況は大きく変化し、地域社会における図書館の役割も大きく変わってきています。同様に、子どもを取り巻く環境の変化は、図書館の児童サービスの在り方に大きな影響を与え、世界各国で多様な取組が行われています。

この度、日本図書館協会は国際図書館連盟（IFLA）児童・ヤングアダルト図書館分科会とともに、児童図書館員のための交流会を実施します。同分科会を運営する各国の常任委員による、IFLAの取組および新しく改訂された児童・ヤングアダルト図書館のガイドラインの紹介、事例報告等を通して、各国共通の課題、独自の課題を共有し、個々の図書館の活動へのヒントを提供します。

今、図書館は一人ひとりの子どもに対して何ができるのか、世界の事例を知り、共に考えましょう。

日時：2019年3月5日（火）午後1時30分～4時30分

会場：日本図書館協会 2階 研修室

定員：50名（先着順） 参加費：無料 申込み・問合せ：jidou@jla.or.jp

※メール：件名に「3月5日交流会」、本文にお名前（ヨミ）、ご所属、電話番号をご記入の上、お送りください。

※電話でも申込可能です。（日本図書館協会：03-3523-0811）

### \* 当日の主な内容 \*

日本語訳あり

- ◆ IFLAグローバル・ビジョンについて ウッラ・ポツォネン氏（フィンランド 図書館コンサルタント）
- ◆ IFLA 新ガイドライン「0歳から18歳までの子どものための図書館サービス」について  
ヨールン・シスタッド氏（IFLA 児童・YA 図書館分科会議長、ノルウェー フェールデ公立図書館長）
- ◆ 各国からの事例報告
  - ・日本の児童図書館の現状 浅見佳子氏（JLA 児童青少年委員会委員、鎌倉市中央図書館）
  - ・デンマークの児童図書館サービスと子どもの読書傾向  
ソーレン＝ダール・モーテンセン氏（デンマーク オーデンセ市立図書館）
  - ・ドイツの児童・YA 図書館における多様なイベントおよび教育プログラム  
ベンジャミン・シェフラー氏（ドイツ ベルリン中央・州立図書館）
  - ・北米の児童・YA サービスにおける最近の動向  
マリアン・マーテズ氏（米国 ケント州立大学）



IFLA Section  
Libraries for Children and  
Young Adults

主催：IFLA 児童・ヤングアダルト図書館分科会

日本図書館協会

協力：日本図書館協会児童青少年委員会

国際交流事業委員会

公益社団法人 日本図書館協会 〒104-0033 東京

都中央区新川 1-11-14 03-3523-0811

